



産学官協力し 共に発展を

わたしは、「県都前橋の再生」を図るため、元気で楽しい前橋づくりを進めています。具体的な将来都市像に「生命都市いきいき前橋」構想を掲げていますが、それを実現させ本市を発展させていくには、地域経済が元気になることが何よりも重要であると考えています。

ある新聞によると本市の生活しやすさ、住みやすさは全国で25位だそうで、生活環境、保健福祉、教育などで平均を上回っているように思われますが、地域経済においてはなかなか元気がありません。産業面でもプラスアルファの魅力や勢い、そういったものを創造していかなければならないと思っています。

この後、大学などが研究発表をしますので、企業の皆さんは、それぞれのニーズと技術研究を有効に結び付け、新たな製品開発につなげていただきたいと思えます。

本日出席の皆さんが、今後とも連帯を強め、共同研究を通じて企業の繁栄、学術研究の発展、さらには本市の再生につながっていきますことを期待します。

(産学官連帯フェスタ、11月15日、前橋テルサ)

ふれあい広場

まえばし シティフラッシュ



親子で楽しく歌って遊ぶ

十一月十一日、総合福祉会館で「いきいき子育て広場」がまえばし教育の日事業として行われました。ゲストのライブでは観衆も一緒に歌ったり体を動かしたり。親子や友達と触れ合いながら、楽しい一日を過ごしました。

親子で楽しく歌って遊ぶ



賢い消費者目指し

グリーンドーム前橋で11月12日、消費生活展が開かれました。情報を集め、自ら考えて行動できるようにと、生活に役立つコーナーなどがいっぱい。訪れた人たちは説明を熱心に聞きながら、体験コーナーにも挑戦していました。

農業を家族で体験

J A前橋市本所で農業まつりが11月11日に開催されました。農産物の即売会や赤飯やもちの試食、ミニ牧場など楽しいイベントが盛りだくさん。訪れた家族連れなどは生産者と交流しながら、農業に対する理解を深めました。



城南地区

町民みんなが 楽しくプレー

荒子町自治会のソフトボール大会が十一月十二日、霞沼公園で行われました。町民の親ほくをを図ることが目的で、二十一回目の伝統行事です。男女混合四チームのトーナメント方式で実施。強風にもかかわらず、選手たちは風で流れるボールを全力で追い、好プレーも続出しました。互いのプレーをたたえ合い、会場は和気あいあい。たくさん声援や拍手が送られ、大いに盛り上がっていました。高坂魏一郎自治会長は「スポーツを通じた世代間交流が大切です」と話していました。



神社の境内を 鮮やかに彩る

永明地区



十一月十三日から十八日までの六日間、上長磯町の稲荷神社境内で菊花祭りが開かれました。毎年十一月に行われ、今年で六回目です。丹精を込めて育てた大輪の菊や多種多様の菊四十点余りを展示。出展者の経験と技術が生かされています。白や黄色、紫など色とりどりの花が鮮やかに咲き誇り、訪れた人の目を楽しませていました。粕川岑生自治会長は「菊は日本の花、秋の花です。多くの町民に見てもらい、もったにぎやかにしたいです」と話していました。

people
ピープル



体育指導委員で大臣表彰
住谷 トシ子さん(74)
南町二丁目

スポーツは人を明るくする

体育指導委員功労者として、文部科学大臣表彰を受けた。平成四年から市体育指導委員

「一つのことしかできない性格だから、退職後に体育指導委員を引き受けました。表彰の栄に浴し光榮です。でも、わたしよりも長くやっている委員さんがたくさんいるので、よかに表彰されるべき人がいるのではと思っています。」

ろう学校で生徒を教える傍ら、昭和三十年から退職するまで、身体障害者全国スポーツ大会の県選手団監督を務めた。また、選手として高跳びと砲丸投げで国体にも出場している。

「スポーツは人を明るくし、誰とでも分け隔てなく付き合

って話をすることができます。子どもたちと一緒に、体を動かしてきたことがわたしの宝物。仲間も十組引き受け、付き合いが長く続いているのはありがたいことですね。」

日本陸連第一種公認審判員の資格を持ち、各地の競技大会へ出掛けることも多く週末は特に忙しい。

「県外に四人の孫がいるのですが、大会が近くで開かれれば会いに行けるので楽しみです。お土産代わりにプレゼントしたくて、暇を見つけては編み物に励んでいます」と、顔をほころばせた。